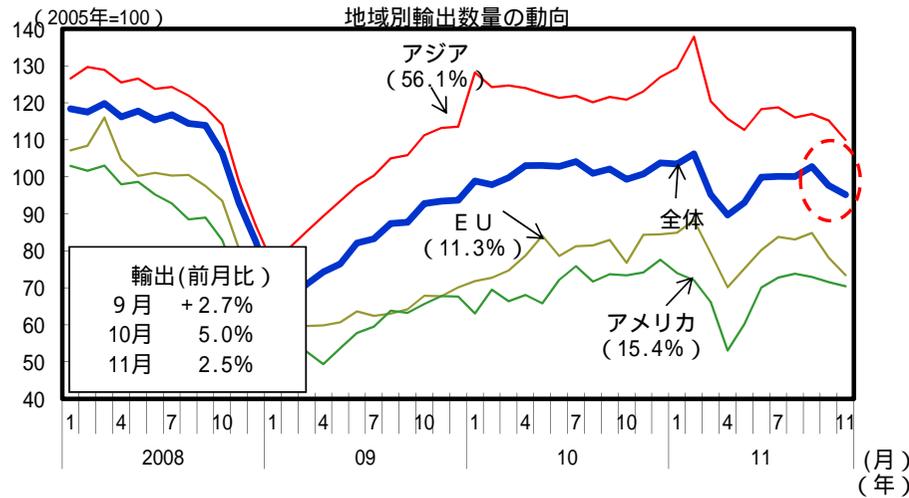
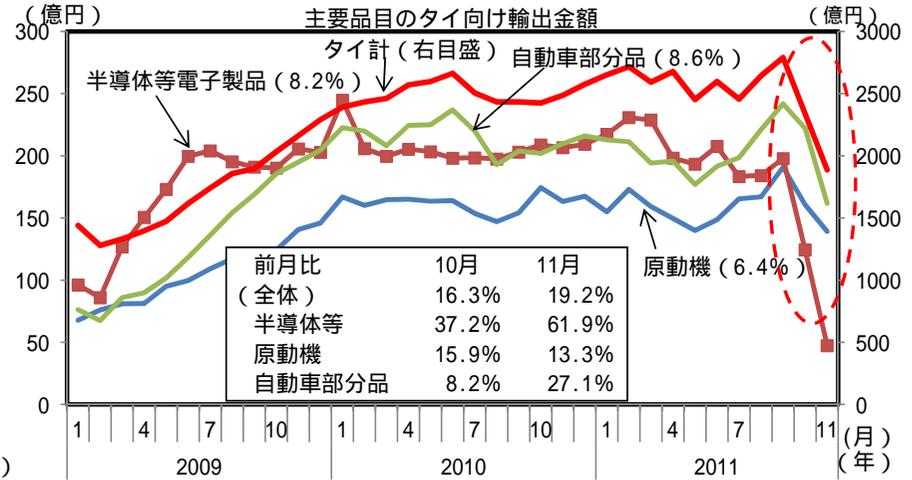


# 輸出入の動向

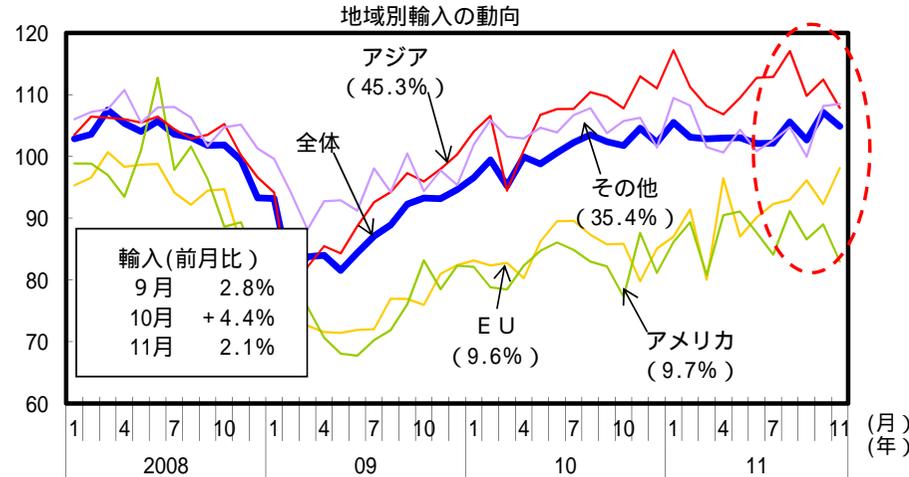
## 輸出はこのところ弱含んでいる



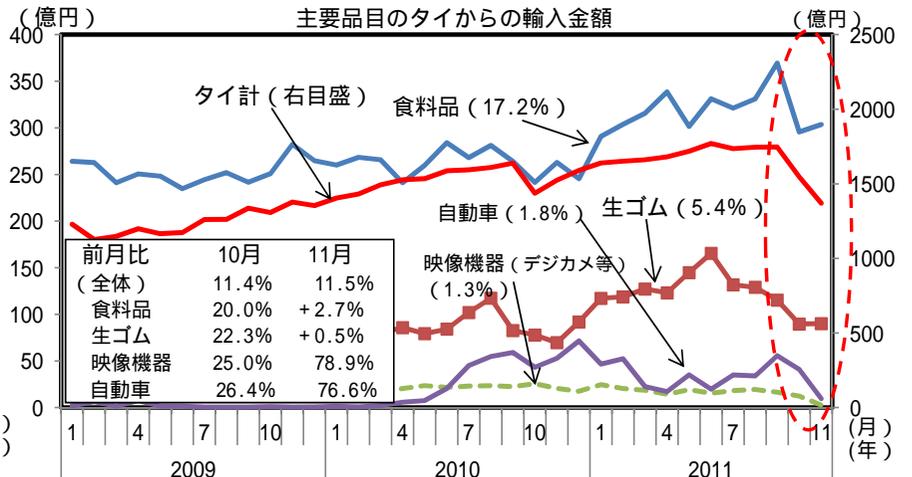
## タイ向け輸出は、主に自動車関連品目が減少



## 輸入はこのところ増勢が鈍化している



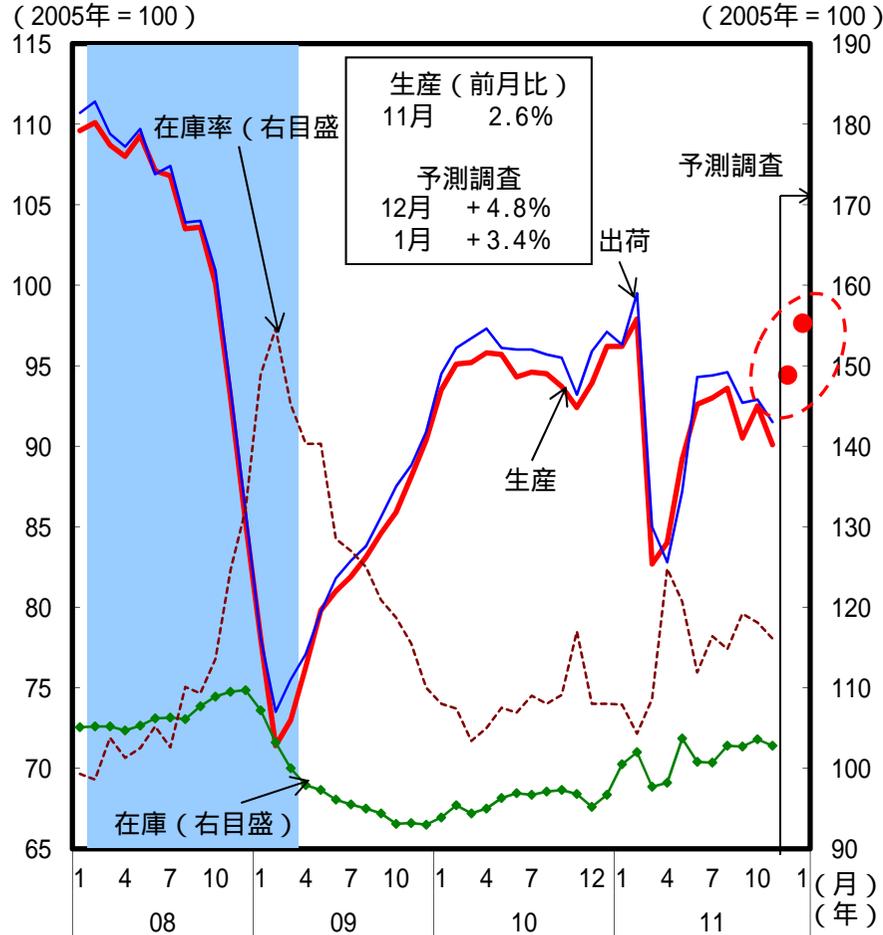
## タイからの輸入は、自動車、デジカメ等が減少



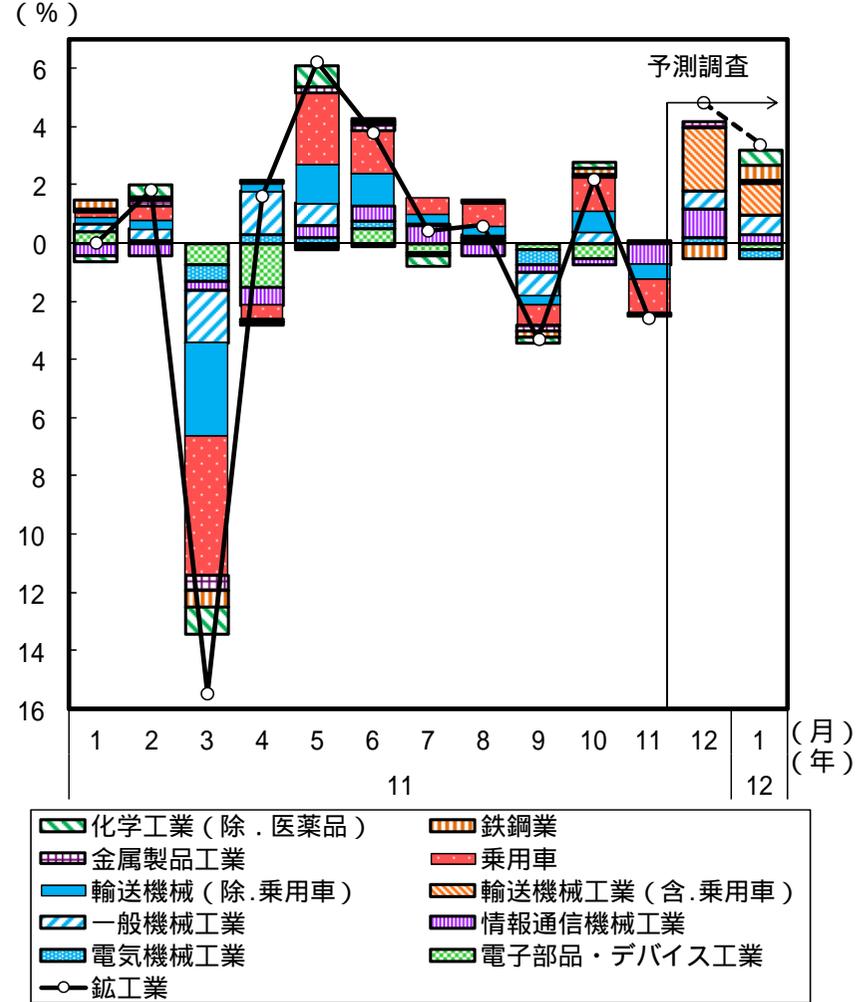
(備考) 財務省「貿易統計」により作成。季節調整値。括弧内は2010年の金額ウェイト。

# 生産の動向

生産は、緩やかに持ち直している



生産に対して輸送機械工業の寄与が大きい

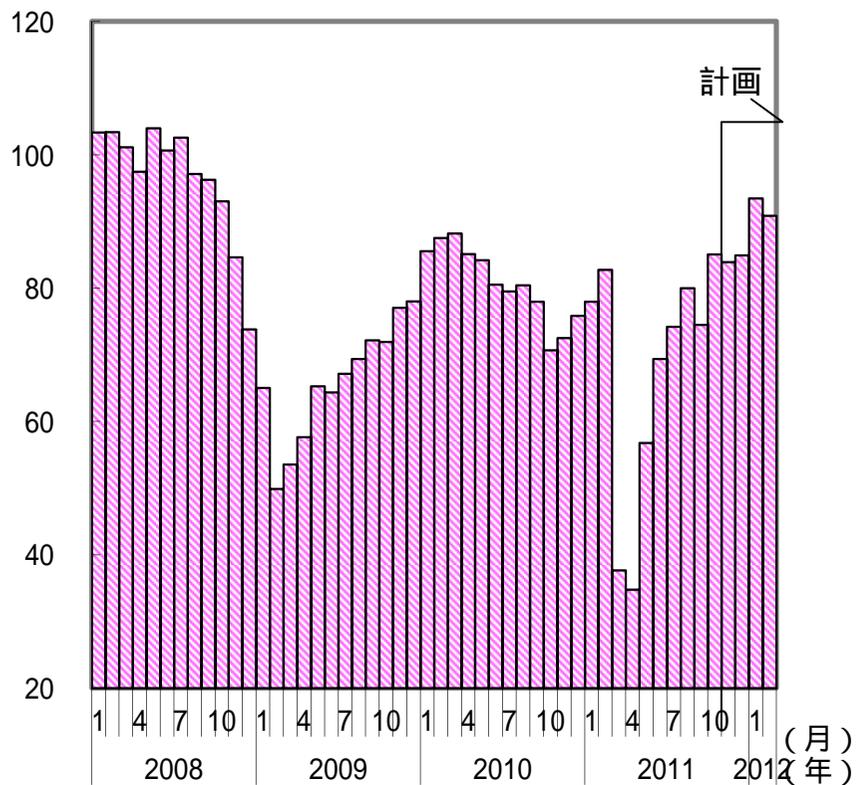


(備考) 1. 経済産業省「鋳工業指数」により作成。季節調整値。  
2. 左図、右図の11月、12月の数値は、製造工業予測調査による。シャドー部分は景気後退局面。

# 生産の動向

## 自動車生産の実績及び計画

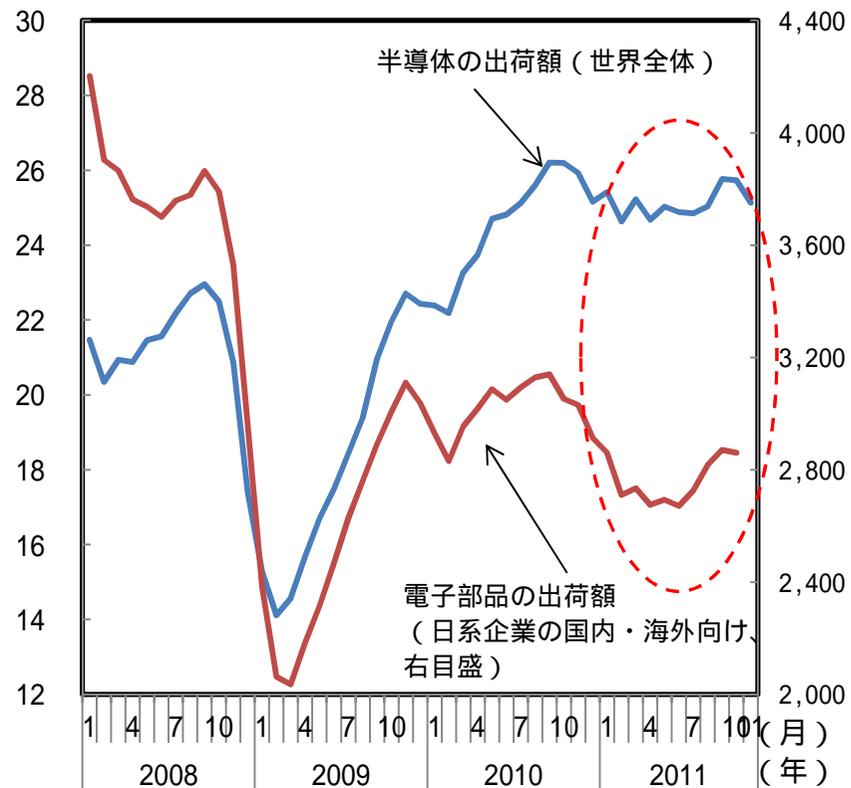
(万台、季節調整済値)



## 半導体・電子部品の世界市場の動向

(10億ドル)

(億円)



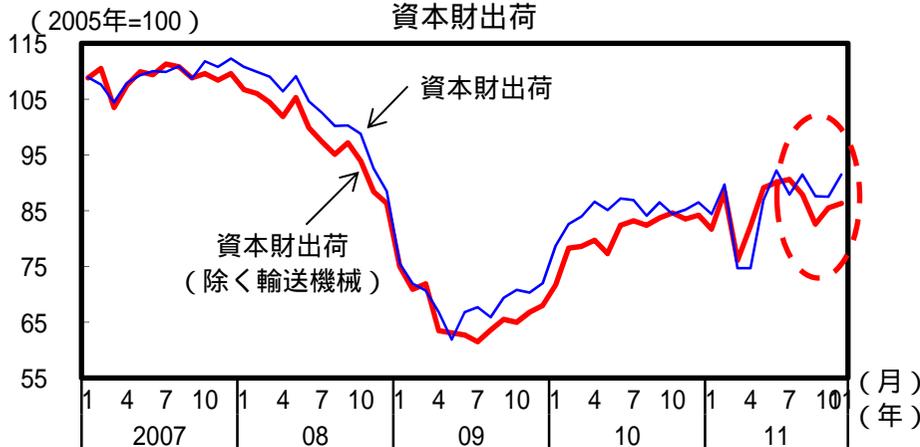
(備考) 1. (左図) (社)自動車工業会「自動車統計月報」、内閣府ヒアリングにより作成。

2. (右図) SIA "Historical Billing Reports"、(社)電子情報技術産業協会「電子部品グローバル出荷統計」より作成。数値は、3か月移動平均原数値。

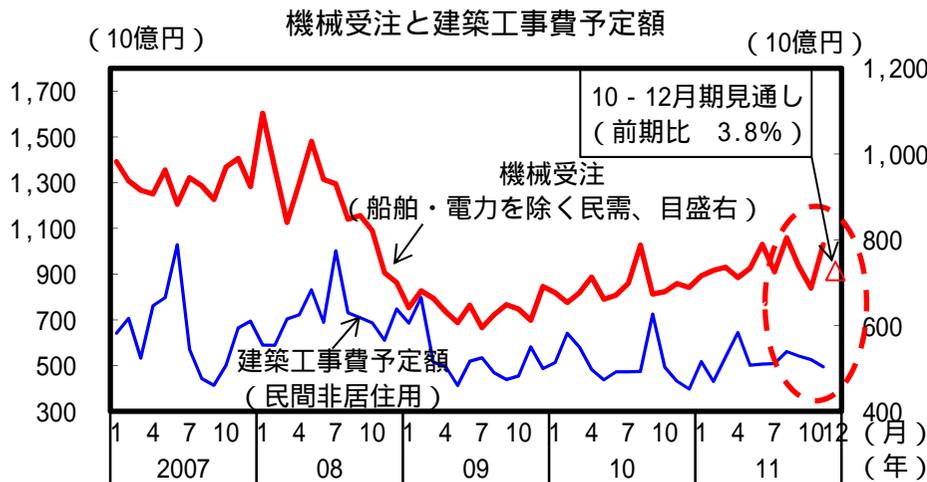
3. 「電子部品グローバル出荷統計」は、(社)電子情報技術産業協会の会員企業80数社から提出された、連結ベース(グループ間取引調整後)の出荷額データをとりとめたもの。

# 設備投資・中小企業の動向

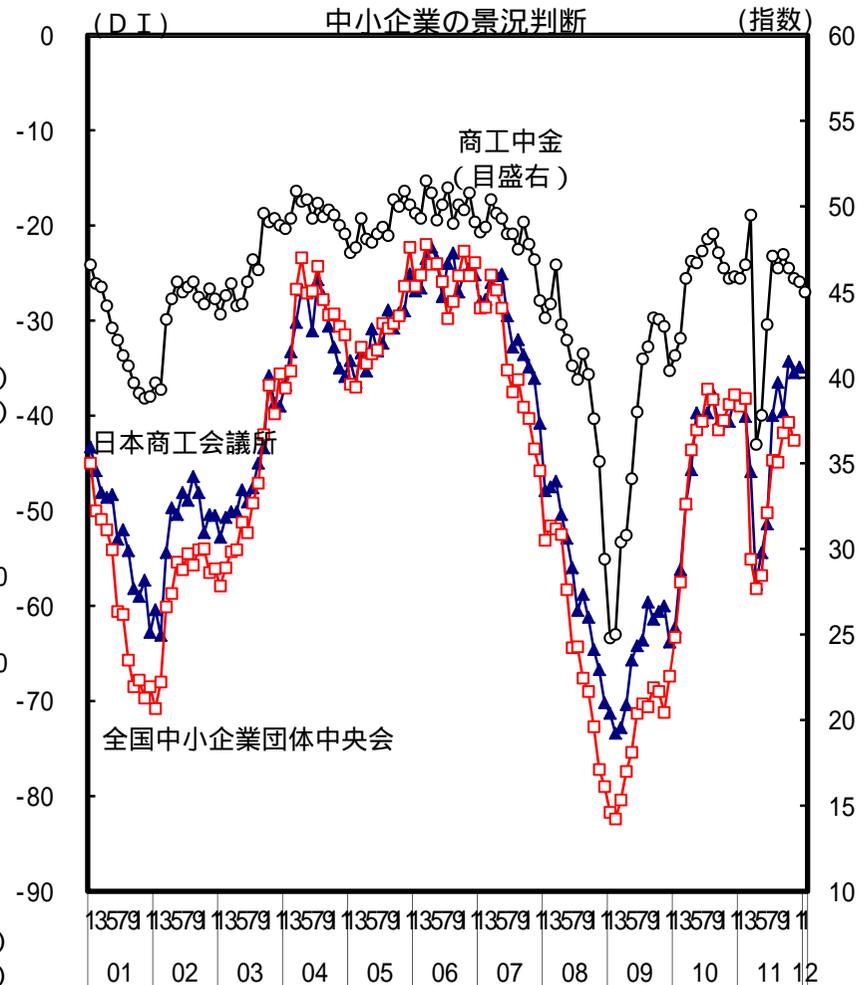
資本財出荷はこのところ弱含み



機械受注はおおむね横ばい



中小企業の景況判断は改善が足踏み



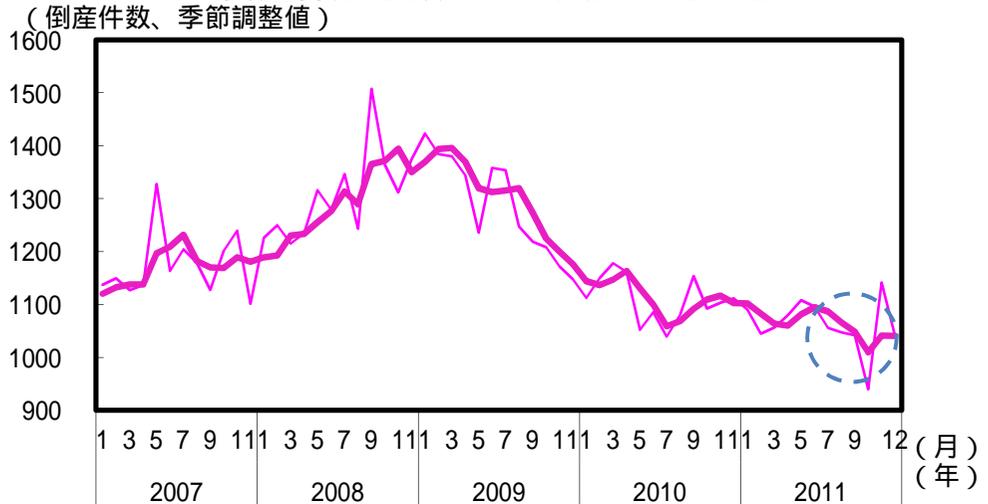
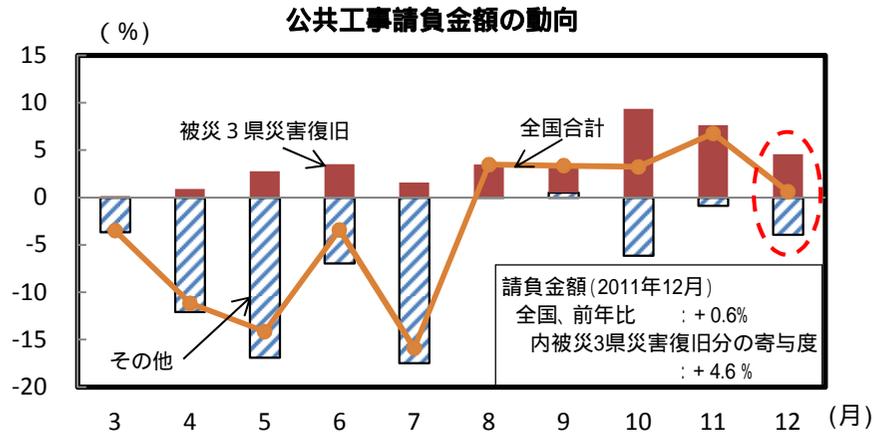
(備考) 左上図：経済産業省「鉱工業指数」により作成。季節調整値。  
左下図：内閣府「機械受注統計」、国土交通省「建築着工統計」により作成。季節調整値。

右図：1. 商工中金「中小企業月次景況観測」、日本商工会議所「早期景気」、全国中小企業団体中央会「中小企業月次景況調査」より作成。  
2. 商工中金については、前月比で  
(「好転」企業数×1 + 「不変」企業数×0.5) ÷ 調査対象企業数 × 10  
他の2つについては、前年同期比で「好転」 - 「悪化」で算出。

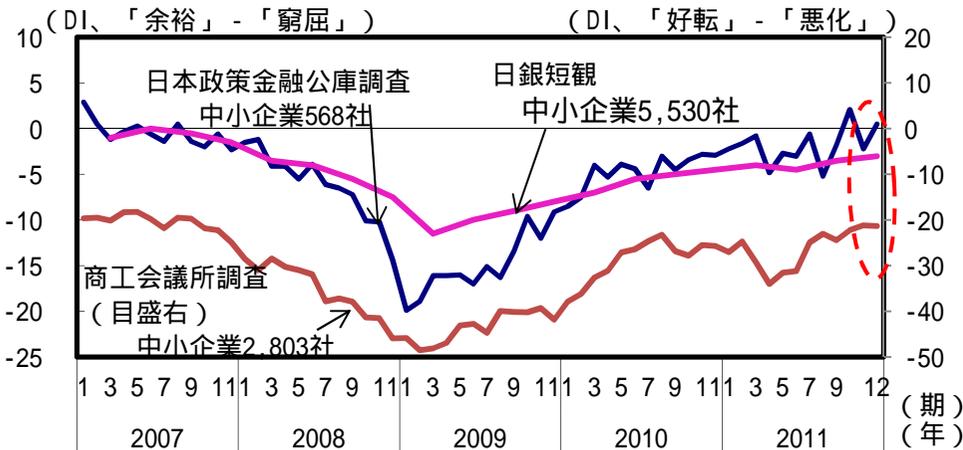
# 公共投資・倒産の動向

公共投資はこのところ底堅い動き

倒産件数は緩やかに減少している



中小企業の資金繰りは改善の兆し



震災関連倒産の内訳

地域別	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
関東	3	11	26	29	24	28	27	22	18	42	230
東北	3	4	15	11	15	7	9	6	10	10	90
中部	0	0	8	10	12	5	4	4	6	4	53
九州	1	3	3	7	3	10	7	5	4	2	45

産業別	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
製造業	3	8	14	20	16	16	20	11	9	12	129
サービス業他	2	7	23	15	15	16	7	9	17	17	128
建設業	0	3	5	17	15	18	11	7	5	13	94
卸売業	2	2	12	12	10	13	10	10	13	9	93

(備考) 左上図：東日本建設業保証株式会社他「公共工事前払金保証統計」により作成。なお、「その他」には被災3県の災害復旧以外（新設・維持補修）分も含まれる。

左下図：日本政策金融公庫「中小企業景況調査」、日本商工会議所「商工会議所LOBO（早期景気観測）」により作成。

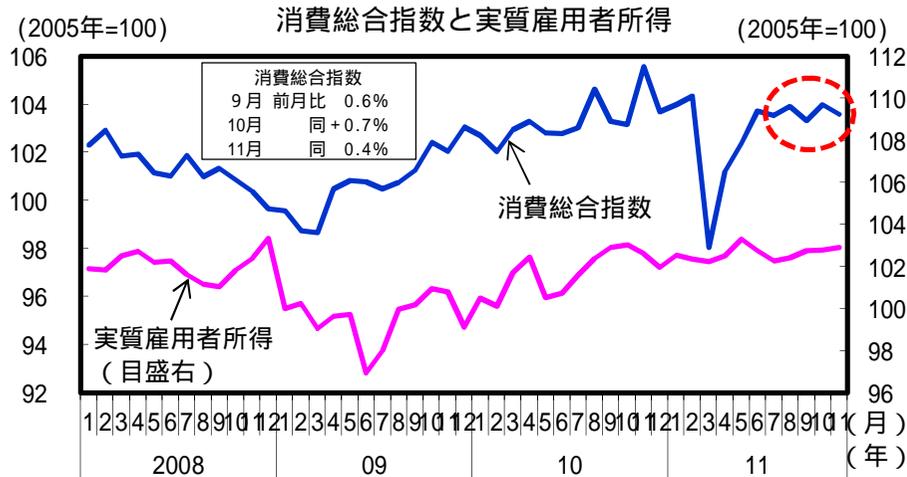
右上図：東京商工リサーチ「倒産月報」により作成。太線は3ヶ月移動平均。

右下図：東京商工リサーチ「特別記事」、同社へのヒアリングにより作成。

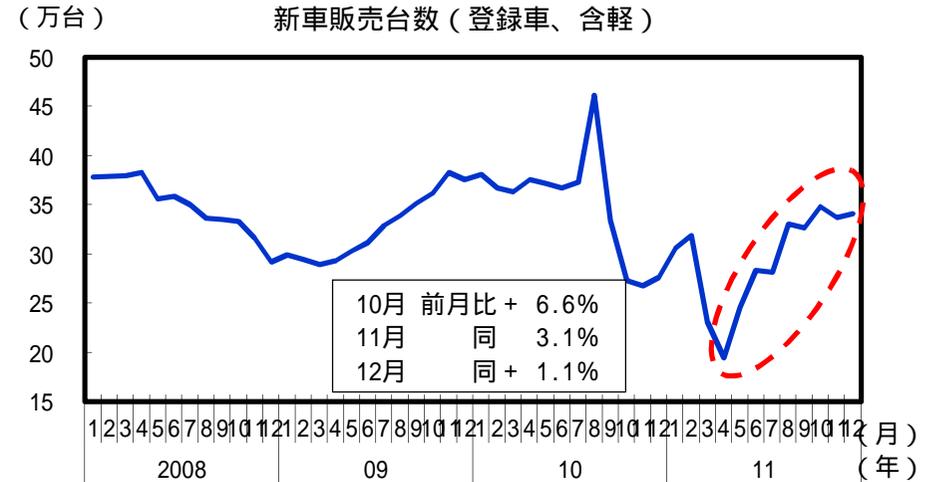
なお、東日本大震災の被災中小企業向けに新たな資金繰り支援が創設された他、被災地については、「不渡報告の記載猶予」や「破産手続開始決定の2年間の留保」などの救済措置が行われている。

# 消費の動向

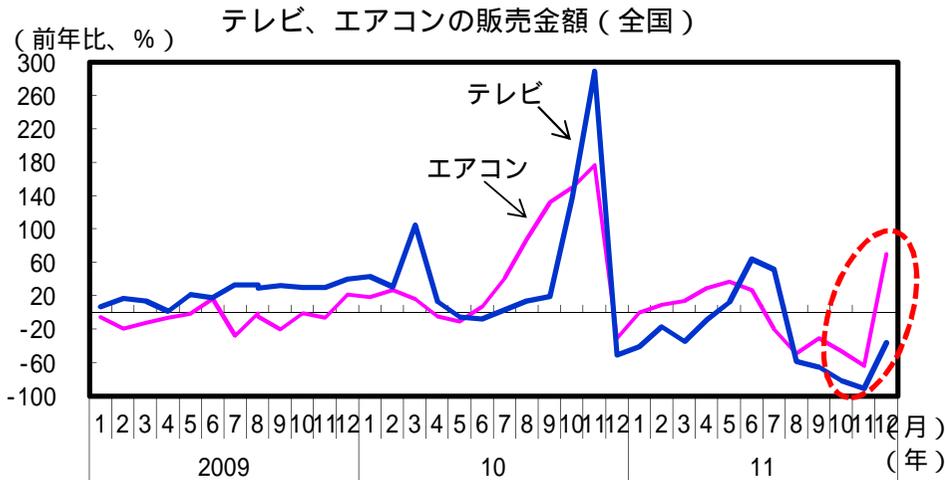
## 個人消費はおおむね横ばい



## 新車販売は増加傾向



## テレビ・エアコン販売は下げ止まり



## 年末年始商戦の動向

年末年始では、各業態(百貨店・スーパーコンビニ・外食)とも年末は好調、年始は百貨店と外食が比較的好調。  
 季節商品では、家族向けの「おせち」および「クリスマスケーキ」が好調。  
 気温の低下や節電意識もあり、保温力のある機能性肌着、機能性寝具が12月通して好調。(以上、大手小売・サービス業)

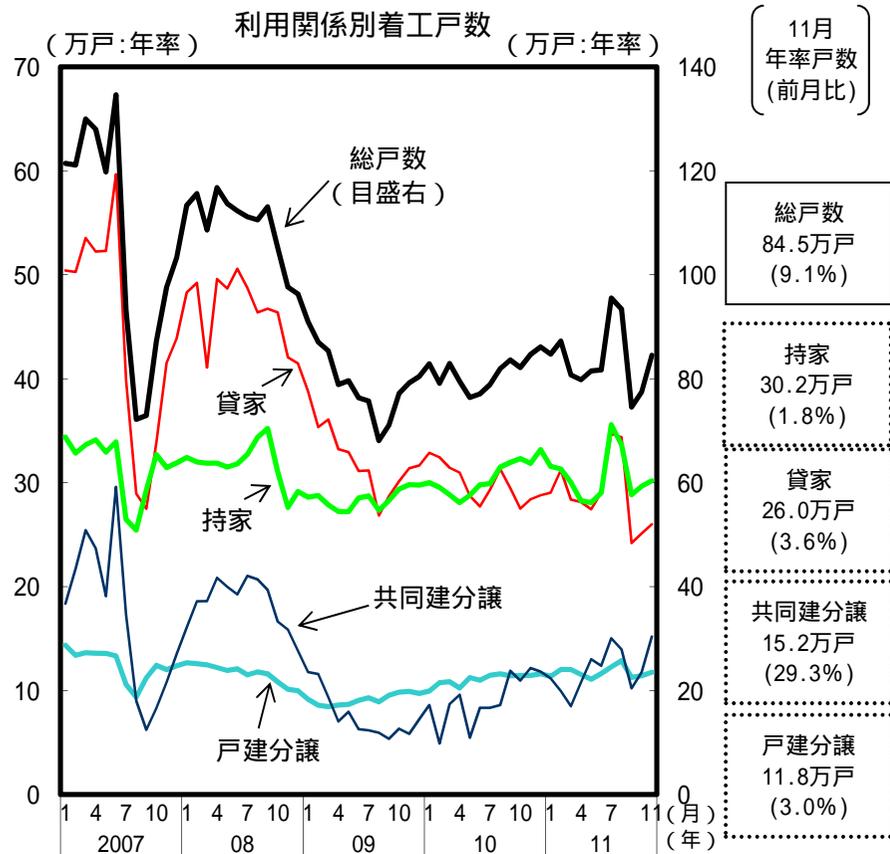
年末年始の旅行は、例年に比べて国内、海外ともに好調、特に久しく会っていない親族や友人に会うことを目的とした帰省や家族旅行が増加したとみられる。  
 国内旅行では西日本方面が引き続き好調、海外旅行ではアジアなど近場への旅行者が多かった。(以上、大手旅行代理店)

(備考)上：消費総合指数と実質雇用者所得(実質賃金×雇用者数)は内閣府で作成。季節調整値。  
 下：GfKジャパンにより作成。2009年8月以前とそれ以降では調査範囲が異なっており、2009年8月以降の方が調査範囲が広い。

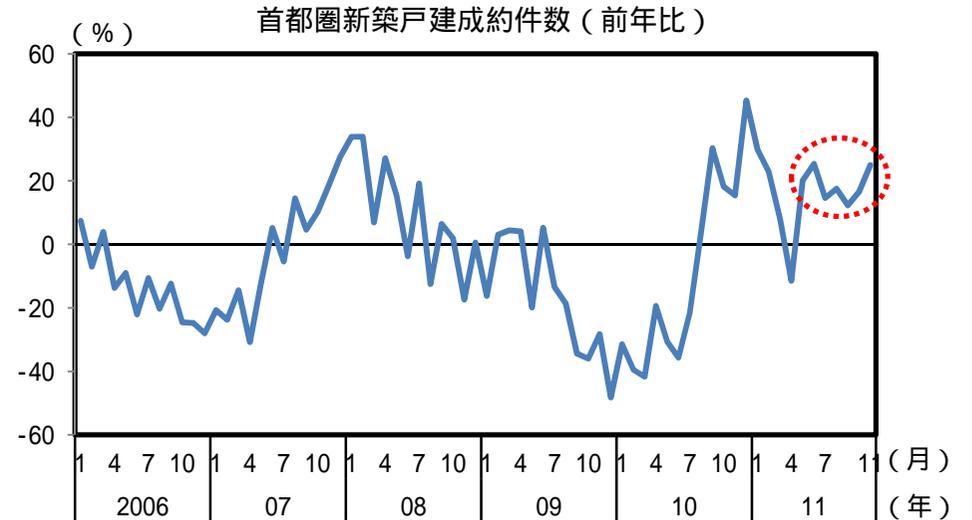
(備考)上：日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会により作成。内閣府による季節調整値。  
 下：内閣府ヒアリングにより作成。

# 住宅の動向

## 住宅建設は持ち直しの動き



## 首都圏の戸建住宅成約件数は、前年比で増加



## 建設技能労働者不足率は高水準



(備考)

左 図：国土交通省「建築着工統計」により作成。年率季節調整値。

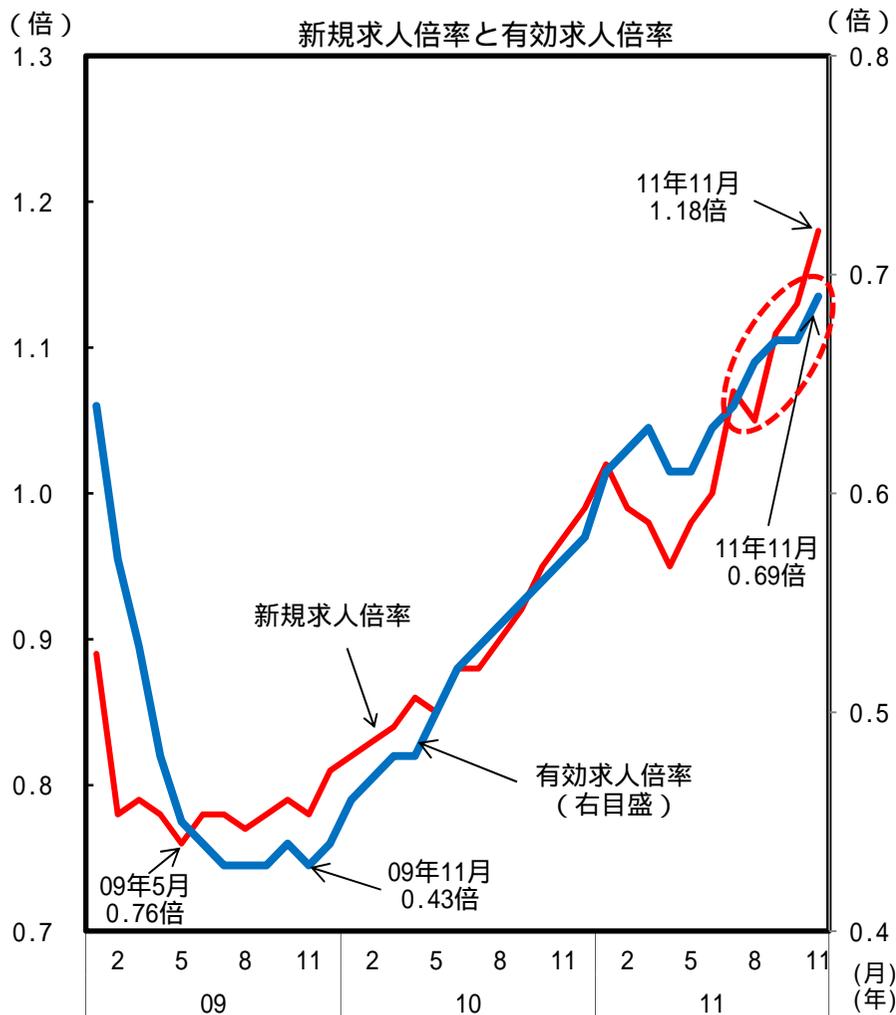
右上図：(株)アットホーム資料により作成。

右下図：1. 国土交通省「建設労働需給調査」により作成。

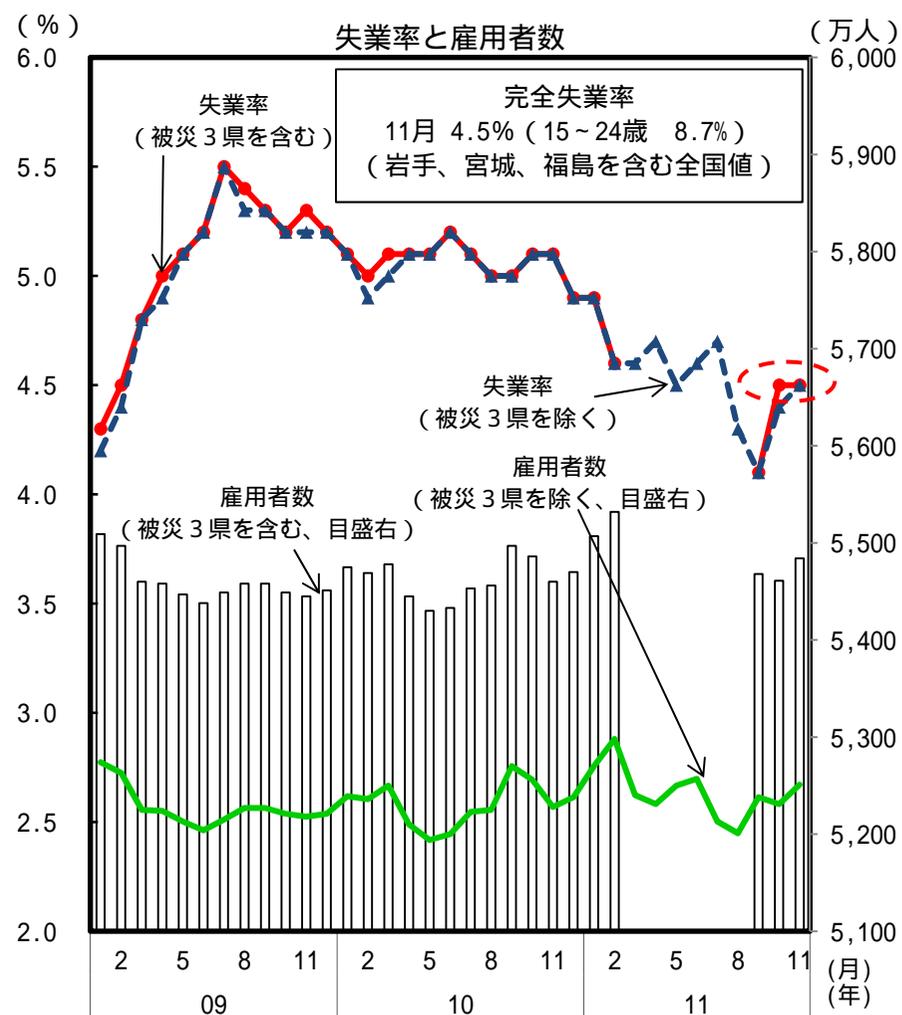
2. 6職種は、型わく工(土木)、型わく工(建築)、左官、とび工、鉄筋工(土木)、鉄筋工(建築)。

# 雇用の動向

有効求人倍率は上昇している



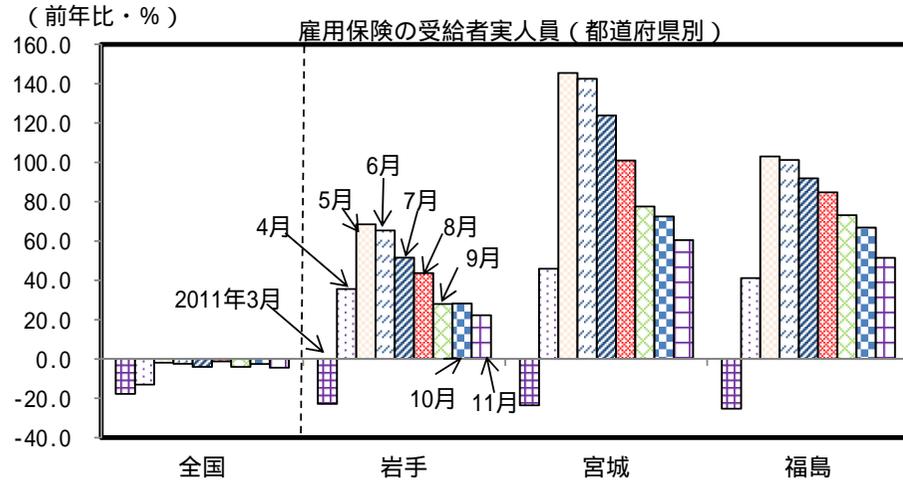
完全失業率は前月と同水準



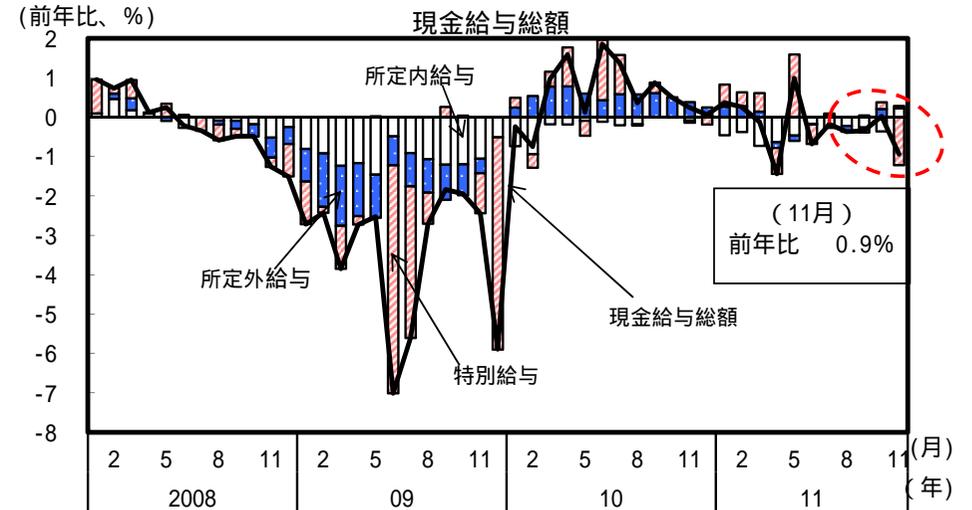
(備考) 左図:厚生労働省「職業安定業務統計」により作成。新規求人倍率とは、「新規求人数」を「新規求職数」で除したものの。数値はいずれも季節調整値。  
右図:総務省「労働力調査」により作成。数値はいずれも季節調整値。

# 雇用の動向

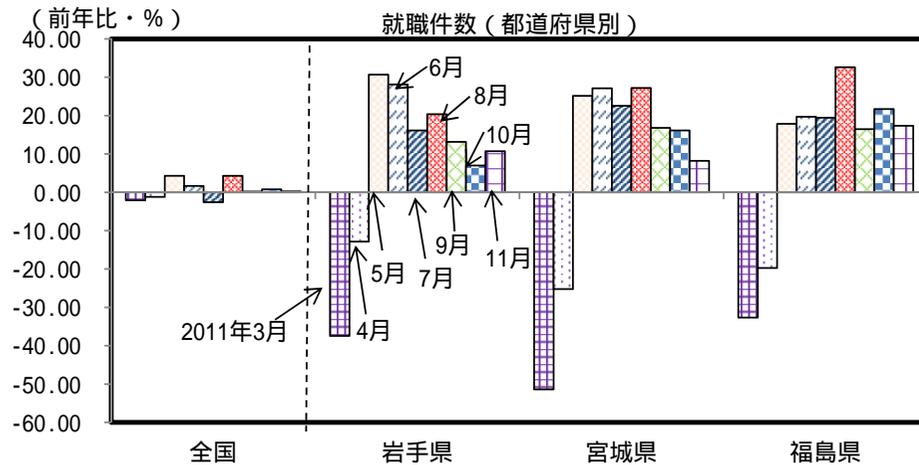
## 被災地における雇用保険受給者の伸びは依然高い



## 現金給与総額は弱い動き



## 被災地における就職件数は増加している



## 大企業の年末賞与・一時金は増加見込み

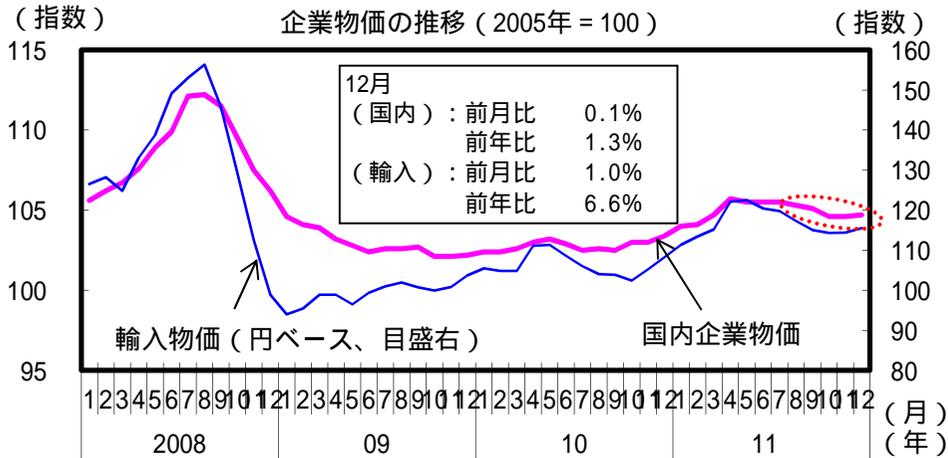
ボーナスの妥結結果(対前年比、%)

	2009夏	2009冬	2010夏	2010冬	2011夏	2011冬
全産業	17.15	15.01	0.55	2.52	4.42	3.62
製造業	21.32	18.46	1.02	3.33	6.96	6.01
非製造業	3.47	4.77	0.77	0.61	2.45	2.49

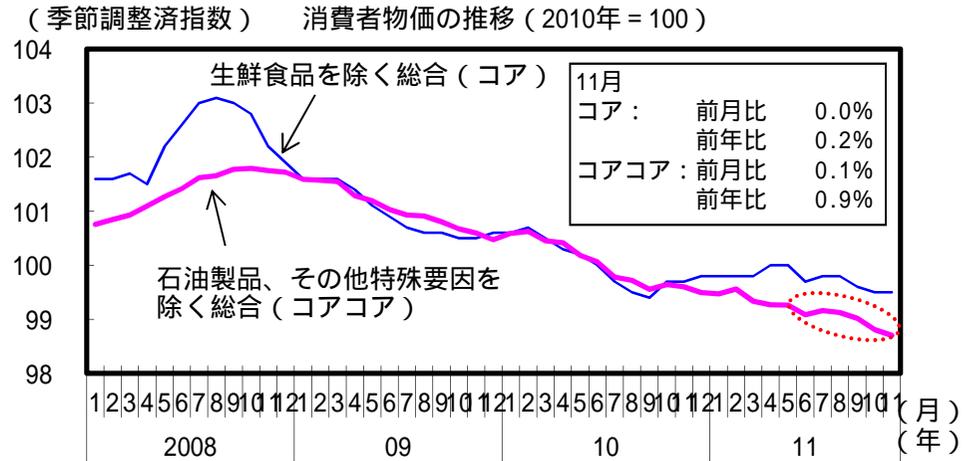
(備考) 1. 左上図は、厚生労働省「雇用保険事業月報」より作成。数値は、基本手当(延長給付を除く)の値。  
 2. 左下図は、厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成。  
 3. 右上図は、厚生労働省「毎月勤労統計調査」より作成。  
 4. 右下図は、日本経済団体連合会調べにより作成。

# 物価の動向

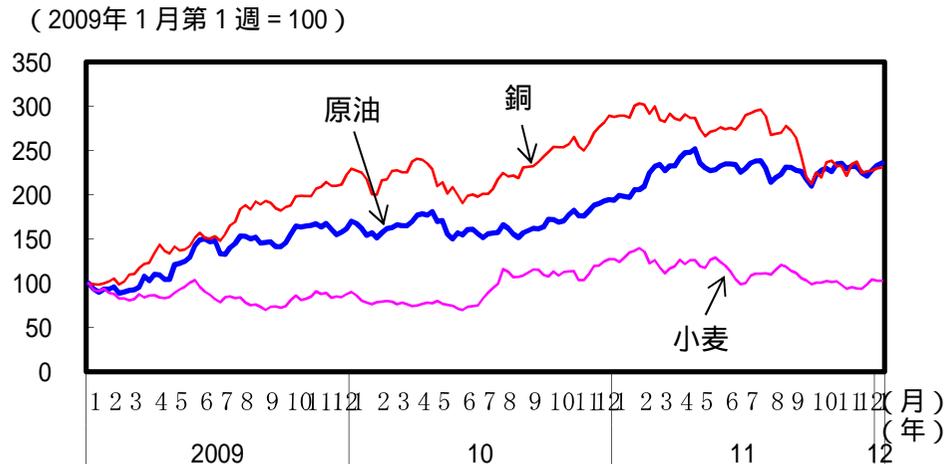
## 国内企業物価は緩やかに下落



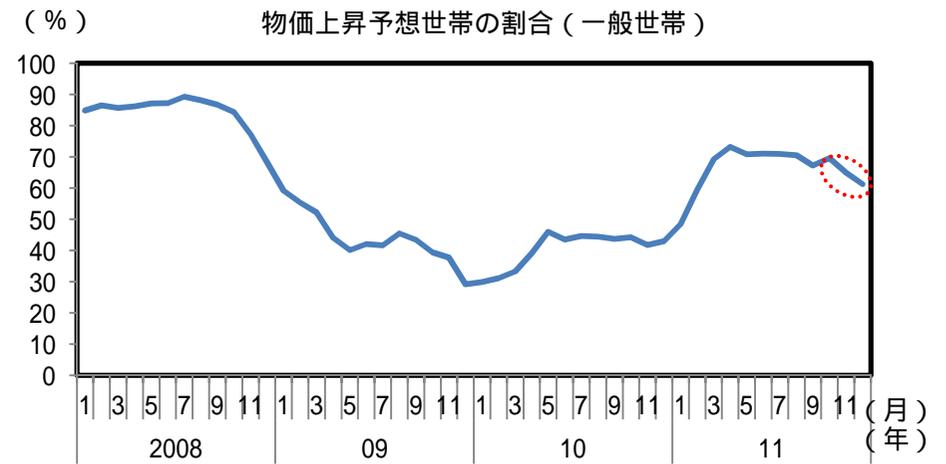
## 消費者物価は緩やかに下落



## 国際商品価格の推移



## 1年後の物価が上昇すると予想する消費者は減少



(備考) 1. 内閣府「消費動向調査」、日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」、日経NEEDSにより作成。

2. 国内企業物価は、夏季電力料金調整後の系列。

3. 銅はロンドン金属取引所の先物、原油はドバイ原油、小麦はシカゴ商品取引所の先物(期近)の価格。

4. 「石油製品、その他特殊要因を除く総合」(コアコア)は、「生鮮食品を除く総合」(コア)から石油製品、電気代、都市ガス代、米類、鶏卵、切り花、診療代、固定電話通信料、介護料、たばこ、公立高校授業料、私立高校授業料を除いたもの。